

## 染屋台グリーンベルト里山整備ボランティア講座事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 染屋自治会内に流れている「染屋七沢（川）」沿いに広がる「染屋台グリーンベルト（緑地帯）」を保全するため自治会内に環境保全委員会を設置し、整備、維持管理、活用を積極的に進めることとした。
- ボランティア講座により、染屋台グリーンベルトを守り育む「緑の担い手づくり」を目指す。
- 「森所有者」「地域住民」「市民ボランティア」が協働して子供たちが安心して自由に遊べる「森と広場」をつくるとともに、森を実際に整備・維持管理・保全していくための技能の習得を図る。
- ボランティア講座の取り組みを通じて、染屋台グリーンベルトの保全の意義を広く市民に啓発・発信する。

### 事業内容

- 「染屋の森」「北沢の森」等をフィールドに上小林業士会を講師に、計5回の「里山整備ボランティア講座」を実施
- 講座とは別にアレチウリの除去作業を市民ボランティアにも呼びかけて実施
- ニュース「北沢の守人だより」を発行、登録ボランティアや自治会内に配布

### 事業効果

- 講座には、地区外の市民も含め、毎回40～50人が参加し、多くのボランティアの育成ができた。  
(ボランティア育成 H20 40人 → 100人)
- 里山林の手入れの仕方や道具の使い方、山の材料を使ったもの作りなどを実際に体験し、楽しみながら無理のない範囲で学び、実践することができた。
- 育成会と協力して、ウォーキング、さつまいもづくりと焼き芋、竹のバウムクーヘンづくりなども行ったことにより、地域外も含めて子どもたちも多く参加、また、広く市民に呼びかけたことにより、グリーンベルトのPRにつながり、多くの市民が散策道を利用するようになった。
- ニュース「北沢の守人だより」を発行、配布、回覧して、北沢の森とボランティアを地域内に情報発信、アピールしたことにより、地域のコミュニケーションの活性化につながった。



【里山整備ボランティア講座】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 将来の植生景観に向けた管理方法と年間の管理スケジュールを策定できなかったため、22年度に地権者、地元自治会、ボランティアの皆さんと協働で、整備構想及び年間作業計画をまとめる。
- 地元住民と地区外の市民ボランティアとが連携した継続的な維持管理の「しくみ」づくりが必要であると実感したため、整備構想に基づく具体的な整備作業を開始するとともに、持続可能なボランティア作業体制を確立する。
- ひきつづき当初の目標を実現するため、①年間を通じた計画的な維持管理作業の実施、②近隣の学校、保育園と連携した、森を活用した交流事業の実施、③グリーンベルトのすばらしさと保全の必要性、ボランティアの募集を上田市全域へ情報発信、を中心に事業の継続をはかっていく。

#### 【選定のポイント】

里山整備ボランティア講座に多数の参加があり、最終的に前年の2.5倍となるボランティアを育成できた。住民が自ら参加して地域資源である里山の保全を図る活動は、地域活性化に寄与する取り組みである。

団体名 染屋自治会環境保全委員会（上田市） 連絡先 電話 0268-24-4924	事業タイプ ソフト事業 事業費 739,360円 支援金額 700,000円
--	--